

## 高田中学校平和宣言

一九四五年八月九日。長崎の街に原子爆弾が落とされ、人々の人生は大きく変わりました。あの日からちょうど七十五年。日本は戦後大きな復興を遂げ、長崎は美しい街並みを取り戻しました。

しかし、今も世界では絶え間ない紛争やテロにより多くの尊い命が奪われ続けています。

平和について中学生である私たちにできることは何があるのでしょうか。私たち一人一人の力は小さいかもしれませんが、決してゼロではないと思います。

私たちは、被爆者の方やその家族の方々の苦しみに寄り添うことができます。

私たちは、被爆者の方と共に、戦争の苦しみ・悲しみをしっかりと心に留め、伝えていくことができます。

小さな行動の積み重ねが、大きな力となり、私たちの力で平和な世の中を作り出せることを信じます。

平和のために、私たちができること

- 一、 後世に戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさをしっかりと伝えます。
- 一、 友達や家族など、身の回りにいるすべての人達を大切にします。
- 一、 仲間を大切にし、いじめや差別のない学校にします。

「ピースフロムナガサキ」 平和は長崎から。七十五年経った今だからこそあの悲惨な記憶を忘れてはなりません。長崎で被爆された方々に対して追悼の意を表し、これからの平和な世界を創り出す大きな力になれるよう、私たちは最後の被爆地として語り継いでいくことをここに誓います。

令和二年 八月九日

長与町立高田中学校 生徒一同